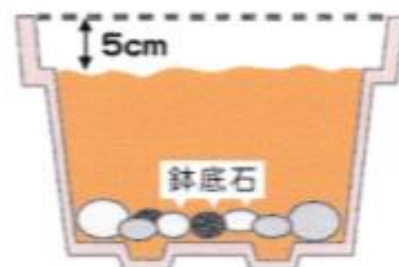


ゴーヤの育て方

1. 土づくり

- できるだけ大きめのプランター（幅約70cm、深さ約30cm）で育てるのがおすすめです。
- プランターの底のデコボコが無くなり、平らになるまで、底に軽石を敷くか、又は鉢底石を敷きます。
- プランターの上部から5cmのウォータースペースを残し土（野菜用培養土）を入れます。

去年の土を使用する場合は、残った根を取りたっぷり堆肥をまぜ、有機肥料（油粕、鶏糞など）、有機石灰、炭を混ぜて土壌改良をしないとゴーヤの出来が悪いです。



2. 種の準備

- 種のとがったところをカットして、水に湿らせたガーゼに置くか、水に浸した小皿に入れます。
- 芽が出てきたら、ポットに植え、白い根を下にして土をかぶせます。



3. プランターへの植え替え

- 用意したプランターに苗の間隔は30cm以上離すようにして植えます。苗は土がついている上部と、プランターの土の高さが水平に合う深さが目安にします。



4. 水やり

- プランターは、水分の蒸発・流出が早く、しかも伸び盛りになるとよく乾くので、水は毎日、土の一面に水が溜まるくらいあげましょう。気温が25°までは夕方だけ、それ以上になる時は朝・夕に水やりするといいでしょう。

5. ネット張り等

- 窓やサッシの両側の柱等にネットを固定できない場合は、園芸用支柱を土に刺し、固定します。実がなると重くなるので、横に1～2本支柱を通しておくのが良いです。

（台風が近づいたときは、ネットをはずし、地面に置きます。）

- 「つる栽培用ネット」として販売されています。網目が10cm×10cm位が適当な大きさです。

6. 枝の誘引

- ゴーヤはつるを伸ばして成長しますが、こちらの思った通りの方向に伸びるとは限りません。そこで、園芸用のテープやビニタイで整枝してあげます。この時、あまり強く縛らないよう気をつけて下さい。
- ゴーヤの葉が10葉程度になったら先端の成長点を摘芯します。そうすることで、葉をカーテンのように拡げて育てるのができます。
- この時機、もし葉の色が薄くなるようであったら、追加の肥料を手のひらに、半分くらいあげて下さい。（追肥といいます。）